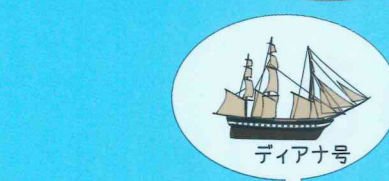


文化財 戸田編

まちあるき マップ



戸田造船郷土資料博物館

友愛の松、御浜岬、イヌマキ群生地、諸口神社、鱒口、戸田燈台、若山牧水歌碑、東京大学戸田寮、根上りの松、スカシユリとアジサイ、潮風のベンチ、海竜記念碑、御浜海水浴場、御浜岬公園、戸田塩の会、戸田の塩、魚見の松、健康の森展望地、野馬堂句碑、富士見海岸通り、浜平丸、近現代の採石場跡、戸田柳ヶ窪石丁場(紀州徳川家の石切場)、戸田牛ヶ窪石丁場(細川家の石切場)、戸田大浦石丁場(鍋島家の石切場)

戸田健康の森から望む御浜岬と富士山

御浜岬は、駿河湾の海流に運ばれた土砂が湾の入口部分に帯状にたまってできた砂嘴(さし)と呼ばれる地形です。

戸田の俯瞰写真

戸田の俯瞰写真

戸田の歴史... 日露和親条約締結のため下田に滞在していたプチャーチン提督らロシア使節一行は、嘉永7年(1854)安政東海地震に襲われ、乗船ディアナ号が破損してしまう。一行は船の修理のためディアナ号で戸田に向かったが、途中で舵がきかなくなり船は富士沖で沈没してしまつた。プチャーチンらは陸路戸田に入り、帰国のための船を日本人船大工らと協力して造り始めた。言語・文化・技術、両国の様々な違いを乗り越えながら船は無事完成し、プチャーチンは地元への感謝を込めて船に「ヘダ号」と名付けたといわれている。

- 古墳(円墳)
- 遺跡
- 神社・祠
- 寺院
- 石碑・石造物
- 水源・水場
- めまづの宝 100選
- 立ち寄り店
- 石蔵
- 土蔵
- 西伊豆歩道
- プチャーチンロード

石造物ガイド

石仏 仏様が彫られた石造物の総称。地藏様や賽の神、様々な種類があります。

馬頭観音塔 馬頭観音は頭に馬を乗せた観音様。庶民の間で馬の健康や死んだ馬の冥福を祈るため江戸時代に多く建てられました。

庚申塔 庚申の日の夜、寝ている人から三尺(さんし)の虫が抜け出し、天帝にその人の罪を告げるとされます。三尺が抜け出さないよう一夜を眠らずに過ごす「庚申講」を行う人々が建てた石造物です。

甲子塔 甲子の日の夜、人々が集まって大黒天を祀り、夜遅くまで雑談をする行事を「甲子待」といいます。甲子講の人々は、「甲子塔」「子待塔」「大黒天」の文字を刻んだ石塔を建てました。

石造物 上記以外の石碑・記念碑・中世の墓など

洋式帆船建造地跡

細川家刻印、鍋島家刻印

モデルコースA	スタート 8分	くらら戸田	19分	① 部田神社	12分	② 大行寺	11分	③ 松城家住宅	3分	④ 宝泉寺	10分	⑤ 勝呂家住宅	20分	⑥ 洋式帆船建造地跡	ゴール
モデルコースB	スタート 5分	① 松城家住宅	12分	② 大行寺	3分	③ 宝泉寺	8分	④ 勝呂家住宅	5分	⑤ 中央棧橋(戸田港)	ゴール				

